

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年12月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890100027		
法人名	医療法人社団 愛優会		
事業所名	グループホーム 水戸	ユニット名	1階
所在地	〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1614-9		
自己評価作成日	平成21年8月2日	評価結果 市町村受理日	平成21年12月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	まだありません
-----------------	---------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年9月8日	評価確定日	平成21年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気を保ち、入居者様の介護予防や健康維持に努め、施設内で自立し楽しんで生活して頂けるように支援している。 また、五感を刺激し、季節を感じながら生活して頂けるよう、取り組んでいる。 周辺地域の住民との繋がりを求めるとともに、入居者様が地域住民の皆様と積極的に触れ合えるよう「開かれたホーム」を目指している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は毎朝の体操後に全員でウォーキングやマシンを使用し普段使っていない筋肉を動かすトレーニングをするなど、介護予防や進行のケアに努めている。 くもん学習療法を取り入れ音読や計算など前頭前野機能の維持改善を図っている。 水・メシ・クソ・運動の4原則にそって、認知症が進まないよう支援をしている。 利用者の誕生日は職員手作りのケーキで祝っている。 外出支援では花見や神社、笠間焼きの絵付などレンタカーを利用し、利用者の楽しみとなっている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域のイベント（敬老会参加等）やボランティアの受け入れなど積極的に行っている。	地域密着型サービスの意義や役割を踏まえ、設立者が作成した理念を管理者と職員は理解し実践している。 理念をパンフレットに記載するとともに、玄関及び居間に掲示し来訪者にも分かるようにしている。	設立者が作成した理念のままではなく、管理者や全職員で考えて作成した理念に基づき実践することを期待する。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、ゴミ捨て場の掃除や回覧板等を通してかかわりを持っている。また、ウォーキング時など積極的に近隣の方に挨拶し会話をしている。	自治会や敬老会に加入し行事に積極的に参加している。 近隣の中学校の運動会に招待されたり、散歩時など地元の人々と挨拶を交わしたり、近隣の方から野菜のお裾分けがあるなど、利用者は地域の一員として日常的に交流している。 高校生の実習やボランティアを受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム便りに健康や介護に関する豆知識を掲載し、回覧板で閲覧して頂けるようにしている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在の取り組み内容については毎回報告し、結果も適宜報告している。	運営推進会議は民生委員や市職員、事業所職員で年6回開催している。 家族等の代表は初年度のみ参加で、現在は参加するまでには至っていない。 会議では事業所からの報告をしているが、外部の出席者が少ないため地域の情報や意見、助言を得たり、議事録を作成するまでには至っていない。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、地域の代表を委員に加え、サービスの質の向上につながるよう話し合うとともに、議事録を作成することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所へは電話相談ではなく、訪問して担当職員と直接お会いし相談報告をしている。	処遇困難な利用者への対応について、市担当者を訪問し相談するほか市の連絡会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ一同が身体拘束せずにケアに取り組んでいる。	職員は研修や話し合いなどで身体拘束の内容とその弊害を認識しており、職員が利用者に「待つて」ということも束縛と考えている。 玄関は防犯のため施錠しているが、利用者は自由に鍵を外し外出しており、職員は安全を確保しつつ抑圧感のない自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会等に参加し学習し、入居者の様子を観察し、虐待のないようにスタッフ一同日常的に話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修に参加し、家族会の際にもテーマになり、必要時話し合い相談している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、契約書・重要事項説明書等を説明し、契約を締結している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	地域運営推進会議や家族会で、家族の意見や要望等を聞き、面会の際の意見も職員へ通知し改善するよう心がけている。	家族等に毎月の請求書発送時に職員直筆の手紙を添え、家族等が利用者と面会の機会をつくるよう促すとともに、来訪した時に家族等から意見や要望を聞き、出た意見等を会議で話し合い運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を開催し、話し合いの機会を設けている。	職員は毎日の申し送り時や毎月の会議で提案や改善すべき点などの意見を出すとともに、管理者は出た意見等を運営に反映させている。 管理者は会議だけでなくいつでも職員が意見を出せるよう配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の状況により、モチベーションが低下することのない様に、一時配置換えをするなど考慮している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を積極的に参加できるよう情報提供し、バックアップしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の他事業所訪問や県内研修時の意見交や、法人内のや事業所と交流の機会を持ち情報交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際に傾聴し、不安の軽減に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に際しての家族の心境を理解するよう努力し、不安や要望等できる範囲で実践できるように相談している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前、可能な範囲で事前に訪問や見学等でご本人にお会いするように心がけ、状況を把握し入居の時期を決めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員自身も生活の一部となり家族同様な関わりをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月定期的に本人の生活状況を手紙に書き、家族通信（ホーム便り）個人の写真も同封し郵送している。本人と家族の気持ちを理解し、良い関係を維持また家族関係が修復できるように心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の訪問や電話等で関係を支援している。面会の際には本人の居室でゆっくりとお話していただく様に支援している。	職員は利用者の生活習慣やこれまで培ってきた人や場所との関係の把握に努めている。 利用者は家族等と共に馴染みの場所を訪問している。 職員は利用者が家族等と共に冠婚葬祭に出席できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士が共同生活できるよう、個人を理解しながら孤立することのないよう関わりをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、入居中の写真を送付するなどし、友好的な関わりができるよう心がけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と話をし、意思を尊重しながら集団生活が送れるように関わっている。	職員は日々の関わりの中で利用者とコミュニケーションを図りながら要望や意向の把握に努めているが、その内容を記録するまでには至っていない。 意思疎通が困難な場合は、家族等の意見を聞いたり職員に尋ねたりするとともに管理者に相談して利用者の立場で考え支援している。	利用者の日々変化する思いを記録し全職員で共有することを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を把握し、強制することなく、徐々に新しい生活に馴染める様にスタッフ間で情報を共有し関わっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態を把握しながら、生活リズムが整う様に関わっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族本人とは適宜希望をうかがい、スタッフ間は毎月話し合いの場を設けている。	利用開始時にカンファレンスを通じて利用者や家族等の要望について全職員で話し合い、介護計画を作成している。 利用者の状況を毎日の申し送りや毎月行われる会議で話し合っているが、入居後は家族等の要望を取り入れて見直した介護計画を作成するまでには至っていない。	アセスメントとモニタリングを実施し、利用者及び家族等の意見を反映させ、現状に即した介護計画を作成することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子・プログラムの取り組み状況が分かるように記載し、会議等で話し合う様になっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じ、可能な範囲で個別に対応できるように心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の診療所との協力体制を築いたり、理美容等は地域へ出かけたり、出張理美容も行っている。ウォーキング等で近隣の保育園児と可能な限り触れ合い、中学校クラブ活動等の見学・応援をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に関して、入居時に確認しかかりつけ医継続か、施設と連携の診療所か確認に対応している。	利用前からのかかりつけ医との関係を大切にし、利用者や家族等の意向を踏まえ状況に応じて医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の検温や他の身体状況等を介護職員と施設内の看護職員との連携で、病院へ報告・相談・受診している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は適宜病院へ訪問し、入居者が不安なく入院生活が送れるよう支援し、病院職員とも情報交換している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時もこれらの確認し、状態に応じ再確認、今後について家族と話し合い、医師からも説明が受けられるようにしている。	看取りに関する指針及び同意書を作成している。	事業所は重度化や終末期の対応方針を家族等や関係者と話し合い決めていく予定なので、実行することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全員救急法を講習・再講習し、施設玄関にAEDも設置している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練の他、災害用品の準備・災害時の対応を話合っている。	全職員が参加し事業所独自に年2回避難訓練を実施しているが、記録するまでには至っていない。 外出時に時折非常階段を利用し、避難経路を確認している。 全職員が事業所に設置しているAEDの使用法の講習を受講している。 災害時に地域の人々の協力が得られる体制をつくるまでには至っていない。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、課題を全職員で話し合い記録することを期待する。 地域住民の協力が得られるよう声をかけ連携を図るなど、協力体制を築くことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの人格を尊重し、プライド保てる様かかわりをするよう心がけている。	利用者の尊厳を大切にし、日々の関わりの中で利用者の誇りやプライバシーを損ねていないか職員同士で確認し合うとともに、会議で具体的な言葉かけや対応について話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴し言動を常に観察することによって、思いを引き出せるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を確認しながら関わるように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの色デザイン等を確認して衣類の準備をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好を確認したり、一緒に調理や片付けをしている。	献立は職員が作成するとともに管理栄養士にチェックしてもらい、一日1,500キロカロリー内で栄養バランスや色彩に配慮し提供している。 食事介助は2ユニットで1名であり、スペースの関係から利用者と職員は別々のテーブルで食事をしている。 利用前では食べられなかった野菜も食べられるような工夫をしている。 食事後は利用者も積極的に後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士にメニューの確認・アドバイスを頂き、栄養のバランスが保てるようにしている。水分量は、制限がない限り一定量を目標に摂取できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアへ誘導・適宜介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、排尿誘導しおむつの使用頻度を減らすよう心がけている。	利用者の排泄の自立支援を重視し、排泄状況を記録するとともに排泄パターンを把握し、おむつの使用頻度を減らす支援をしている。 排泄の機能低下を防ぐため水分や食事の摂取量、運動に配慮するなど、プログラムを作成し支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のウォーキング・野菜ジュース・水分摂取維持、適宜プルーン摂取等で使用せず排便コントロールできるよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間等、本人の希望に添うよう調整している。	毎日入浴準備がされているが、職員の話し合いの結果スムーズに入浴できるよう1日おきの入浴となっている。 午後の指定の時間内ならば自由に入浴できる体制となっている。 入浴を好まない利用者には、タイミングを見計らって興味が出るような声かけをし、入浴が楽しめるよう支援している。	利用者が希望すれば毎日でも入浴ができるような体制づくりを全職員で話し合い、希望にそった入浴支援に取り組むことを期待する。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後の休息時間は確保しながら、個人に合わせて適度な運動をし、夜間の睡眠が促せるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの処方じの説明のほか、薬剤師との連携をとり可能な範囲で作用・副作用を理解し服薬介助を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生き生きと楽しく過ごせることを探し、生活できるよう心がけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に添って可能な範囲で外出や、施設外への散歩時の見守り等を行っている。	介護予防の一貫として、毎朝体操後に体調に考慮しながら全員でウォーキングに出かけている。 レンタカーを利用し四季折々に神社や花見に出かけたり、笠間で器に絵付を行うなど、職員は利用者が楽しめるよう外出支援をしている。 外出の時は全員お揃いのバンダナを着用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本はお小遣いは施設で管理し、紛失等でトラブルの内容にし、外出イベント時は各個人が自由に買い物ができる機会を作っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時は、家族へ負担のない様に電話や手紙のやり取りを支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者間でトラブルの内容に、配置換えを行ったり、居間兼食堂には季節感が分かるような装飾をしている。	居間に利用者と職員で作成した大きな貼り絵が飾られ、季節が感じられるよう配慮している。 玄関や階段に観葉植物が設置されている。 共用空間に利用者が一人になれる場所はないが、居心地よく生活ができるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で一人の時間を過ごしたり、居室内やホールのソファ等で入居者同士がゆっくり話ができるように配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人の愛用しているもの等を可能な範囲で使用して頂くよう家族に説明している。	職員は愛用の品物や思い出深い品物を持参してもらったり、家族等の写真や位牌を置くなど、利用者がこれまでの生活を継続できるよう支援している。 運営者は居室は寝る場所と考え、利用者が居室に閉じこもらないように支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「歩かないと 歩けなくなる」をモットーに支援できるよう、物の配置等環境設定するよう心がけている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム水戸

作成日 平成 21年 12月 2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員間で施設の理念を共有実践する	法人理念に基づいた施設独自の理念を掲げる	職員と話し合い、スタッフと理念を共有し実践していく。	3ヶ月
2	3	地域運営推進会議の充実	地域運営推進会議を充実させサービスを向上していく	年間の開催内容を充実させ、構成メンバーを増やし、地域の中でサービスが向上を目指す。	6ヶ月
3	9	入居者の思いや変化が読み取れる記録への改善	入居者の日々の記録の充実	職員間で入居者の日々の変化等の情報のが共有できるように記録方法や記録の種類を修正変更し充実できるよう改善していく。	3ヶ月
4	10	変化に応じた介護計画の作成	利用者・家族の意見を反映し変化に応じた介護計画の作成	入居者や家族と話し合う機会や手紙等で思いを確認していく。又症状の変化に対応した介護計画を作成しご家族と共有して関わりを持つ。	3～6ヶ月
5	13	災害時対策の見直し	昼夜問わず、災害時の対策身につけ地域との連携を構築する	年間に昼夜それぞれを想定した消防訓練を実施し、職員で話し合い修正改善していく。又、地域の方の協力が得られるように働きかける。	1～3ヶ月
6	17	入浴を楽しめる環境づくり	入居者個人のが入浴を楽しめるよう支援	入居者個人の希望に応じ入浴できるよう、入居者と職員が話し合い支援体制を整える。	1ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。